

外務省外交史料館 特別展示



日本とペルー

外交関係樹立150周年



外交関係樹立150周年ロゴマーク
鶴とクスコの地上絵がモチーフ

150 años

1873 - 2023

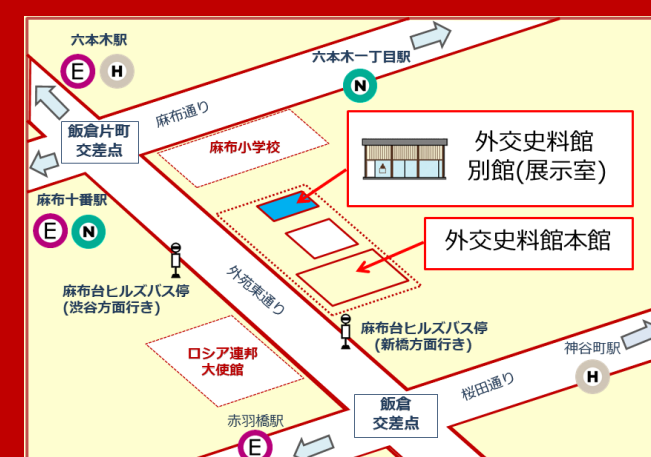
RELACIONES DIPLOMÁTICAS
PERÚ - JAPÓN

令和5年7月28日(金)～令和5年9月29日(金)

会場：外務省外交史料館 別館展示室

(東京都港区麻布台1-5-3 TEL:03-3585-4511)

開館時間：土日・祝日を除く 10時～17時30分



外務省外交史料館特別展示

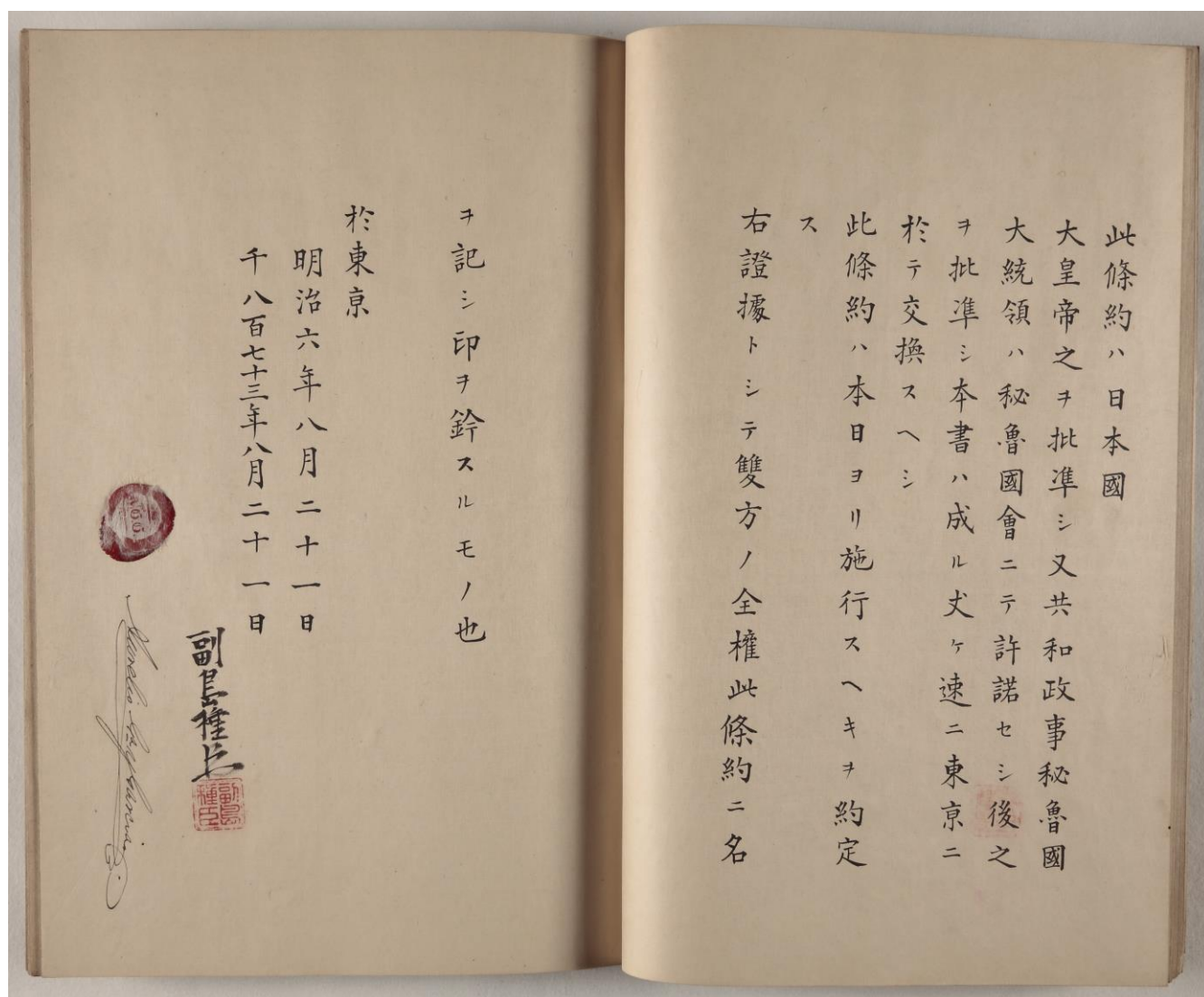
日本とペルー

外交関係樹立150周年

令和5(2023)年は、日本とペルーの外交関係樹立150周年にあたりま
す。この展示では、150年前に調印された条約書を中心に、外交関係
の樹立、日本人移民の送付、日系人社会の発展など、両国関係の歩
みを外務省が所蔵する史料を通してご紹介します。この展示が日本とペルー
の相互理解を促進し、友好関係発展の一助となれば幸いです。

日本国秘魯国和親貿易航海仮条約

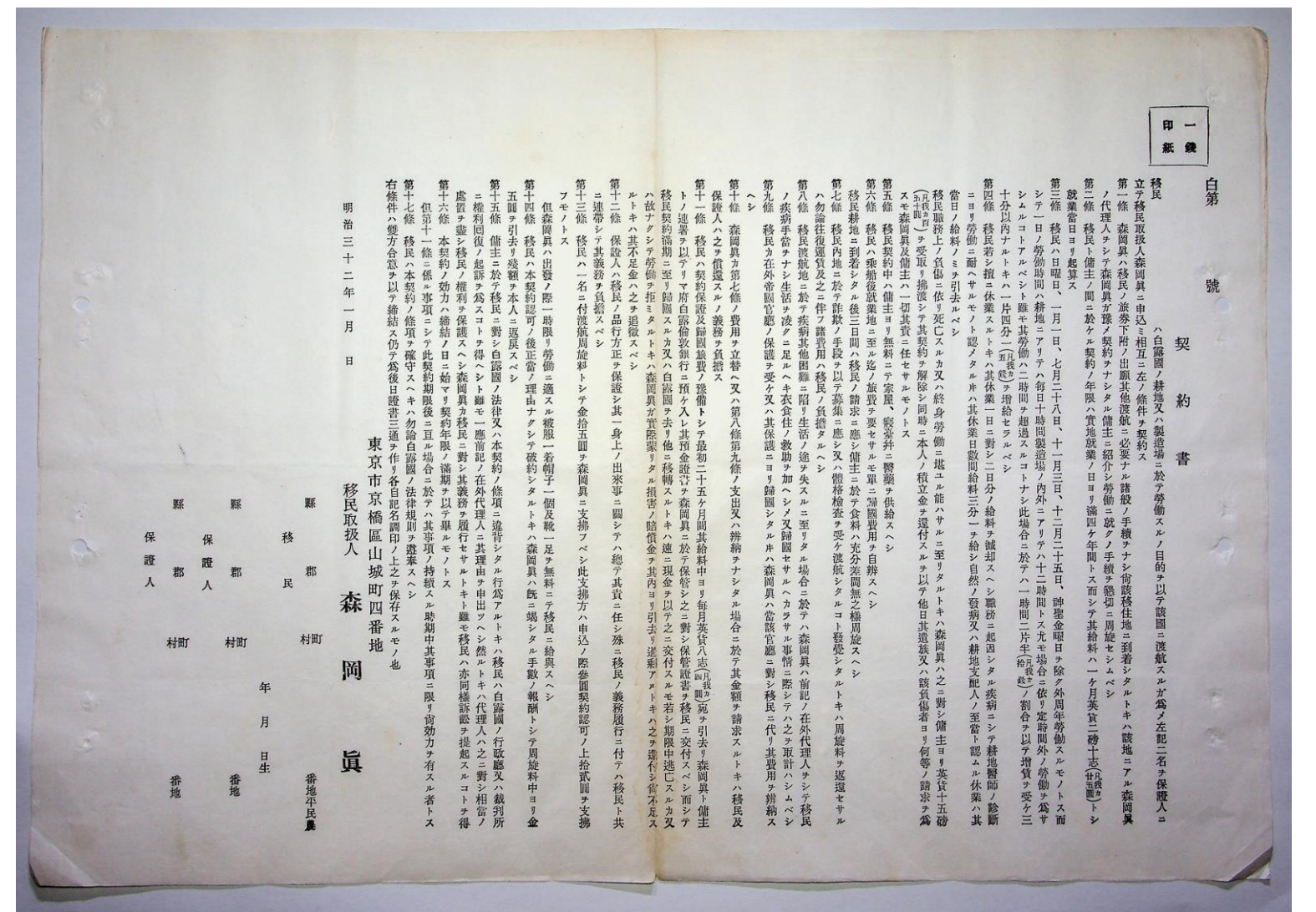
1873(明治6)年8月21日



通商航海の自由を相互に認めた条約。この条約の締結によっ
て日本とペルーは外交関係を樹立した。日本にとって中南米
諸国との初めての外交関係樹立だった。外務卿の副島種臣と
特命全権公使のガルシアが東京で署名。日本語、スペイン語、
英語で作成。ペルーは漢字で「秘魯」「秘露」と書く。

第1回ペルー向け労働者の契約書(ひな形)

1899(明治32)年1月



ペルーへの出稼ぎ労働を希望する者と森岡商會が交わした契
約書のひな形。契約期間は4年。この契約書に基づき、1899年4
月3日、日本人790名が汽船「佐倉丸」でペルーのカヤオ港へ到
着。以後1923年までに18,000名を超える契約移民がペルーに
渡った。第1回契約労働者がカヤオに到着した4月3日は、1989
年、ペルー政府によって「日本・ペルー友好の日」に定められた。

プラード大統領訪日アルバム



池田総理と
プラード大統領

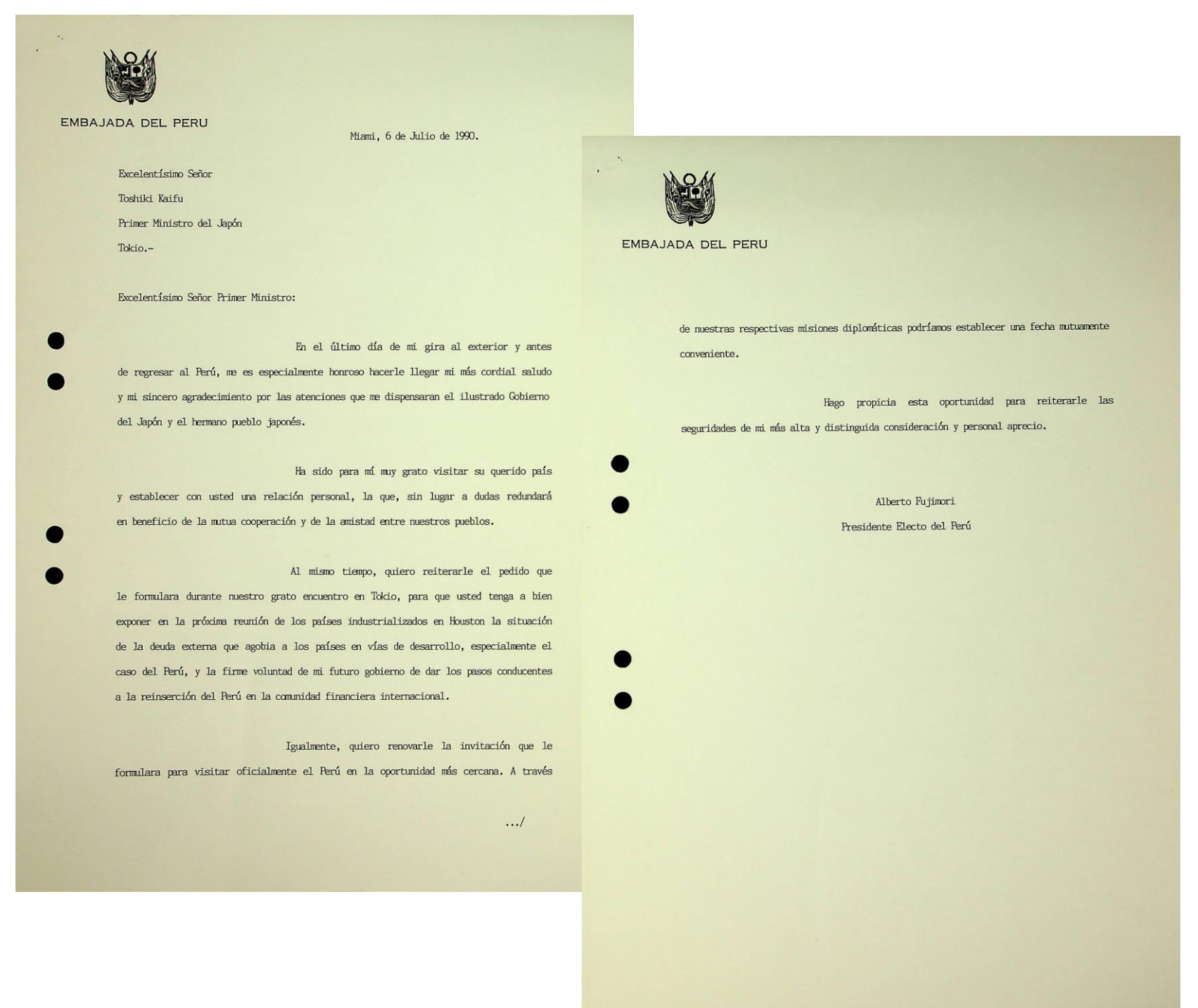


通商協定の
調印式

1961年5月10日から16日までの7日間、プラード大統領が訪日。
大統領は宮中晩餐会や池田勇人総理との会談、京都・奈良・大
阪の視察など、日程を積極的にこなした。5月15日には、プラード
大統領と池田勇人総理の臨席の下、通商協定が結ばれた。

フジモリ次期大統領の海部総理あてメッセージ

1990(平成2)年7月6日



1990年6月、アルベルト・フジモリがペルー生まれの日系人
として初の大統領に当選した。大統領就任前に訪日したフ
ジモリは、離日に当たってこのメッセージを海部総理に送り、
国際金融社会へ復帰したいというペルーの決意をヒュース
トン・サミットで説明してほしいと要請した。

